

千葉県長生郡長柄町

史跡長柄横穴群

長柄町教育委員会

【所在地】

千葉県長生郡長柄町徳増字源六839ほか

【立地】

長柄町は、房総半島のほぼ中央に位置します。町内は、笠森層と呼ばれる凝灰質砂岩層が分布しており、一宮川による複雑な谷が、狭い丘陵地をつくっています。

このような丘陵地に史跡長柄横穴群が存在し、指定面積22,721㎡、横穴墓の総数36基を数えます。また、町内には約330基の横穴墓が造られており、近接する茂原市・長南町等と併せて、千葉県でも横穴墓が集中して分布している地域です。



県内の横穴墓分布状況

【概要】

史跡長柄横穴群は、南北に広がる谷の東側丘陵と西側丘陵の東斜面に位置します。横穴墓はすべて「高壇式」と呼ばれている玄室が一段高くなる形態であり、玄室内部は家形・ドーム形・縦アーチ形等の形をしています。また多くの横穴墓の羨道及び玄室内部には、白色漆喰が塗られており、第13号墓には人物・鳥・建物等の線刻画が確認されました。出土遺物は、須恵器・土師器・鉄製品等が出土しています。



史跡長柄横穴群全体図

【過去の調査例】

史跡長柄横穴群は、古くから研究者により注目されており、昭和33年の高橋三男氏による「東上総源六谷横穴群」、昭和38年の上智大学による「東上総の社会と文化」、昭和52年の齊藤忠氏による「長柄横穴群」等の報告があります。このような研究によって、昭和55年には16基が「長柄町横穴群徳増支群」として千葉県指定史跡となりました。その後、平成5年には県教育委員会が、重要遺跡確認調査を行い、平成7年に35基が国指定となりました。なお平成8年に第2支群に新たに1基の横穴墓が発見されています。

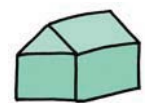
【保存整備】

長柄町では、国及び県の補助を受け、平成8年度に考古学等の専門委員を委嘱し、史跡長柄横穴群の保存整備の基本方針を計画し、第1支群について保存整備を進めることとなりました。平成9・10年度には、指定地の公有化、平成11年度に周辺地域の測量、その後、保存整備基本設計の策定、発掘調査及び地質調査を行って、平成15年度より保存整備を進めており、平成22年度から史跡長柄横穴群資料館が開館しています。

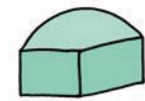


史跡長柄横穴群 横穴墓 計測値 一覧表

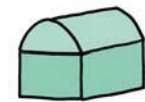
号墓	開口方向	羨道			高壇		玄室			線刻画			
		長さ	幅	高さ	高さ	玄門幅	高さ	形態	長さ		幅	高さ	棺座
1	南西	3.00	2.40	2.75	1.75	2.10	1.00	寄棟形	3.50	4.40	2.25	2	
2	南	2.20	1.60	2.30	1.40	1.50	0.90	寄棟形	2.40	2.80	1.60	2	
3	南	1.50	2.10	-	1.58	1.76	-	横アーチ形	2.00	3.25	1.90	1	
4	南東	1.70	2.40	-	1.65	2.28	-	寄棟形	4.30	3.90	2.20	2	
5	南	3.00	1.45	2.75	1.75	1.40	1.00	縦アーチ形	3.00	3.40	2.10	1	
6	南	2.30	1.30	2.35	1.60	1.30	0.60	縦アーチ形	2.85	3.30	1.95	3	●
7	南西	2.40	1.50	-	1.35	3.35	-	縦アーチ形	3.30	3.35	2.15	3	●
8	南西	2.90	1.70	-	1.44	1.70	0.65	縦アーチ形	2.60	2.85	1.60	3	
9	南	3.80	1.65	1.60	1.75	1.65	1.15	縦アーチ形	3.25	4.35	2.90	2	
10	南	3.00	1.70	2.90	2.00	1.50	0.90	寄棟形	2.20	3.20	1.80	3	
11	南	3.80	1.80	1.65	1.65	1.75	1.15	寄棟形	3.40	4.20	2.25	2	
12	南東	3.45	1.70	2.35	1.55	1.35	0.80	切妻形	2.55	3.10	1.75	2	
13	南西	2.60	1.42	2.46	1.72	1.35	0.95	縦アーチ形	2.69	3.78	1.82	3	●
14	南南西	2.50	1.40	2.69	1.74	1.40	0.95	ドーム形	2.52	2.96	1.83	1	
15	南南東	2.90	2.13	2.81	1.86	1.77	0.95	寄棟形	3.40	4.48	2.31	4	
16	南	2.90	1.70	2.46	1.76	1.72	0.70	寄棟形	3.05	3.76	2.22	4	
17	南	2.80	1.92	1.98	1.36	1.77	0.62	寄棟形	2.58	3.44	1.87	3	
18	南南東	4.20	1.00	-	1.58	1.08	1.30	縦アーチ形	1.55	1.68	1.46	1	
19	南東	2.90	1.38	2.14	1.16	1.38	0.98	縦アーチ形	2.27	2.37	1.90	2	
20	南南東	4.30	1.28	-	1.56	2.43	-	縦アーチ形	1.90	2.54	1.53	1	
21	南南東	3.80	2.00	-	1.28	2.04	-	縦アーチ形	1.84	3.00	1.92	1	



家形



ドーム形



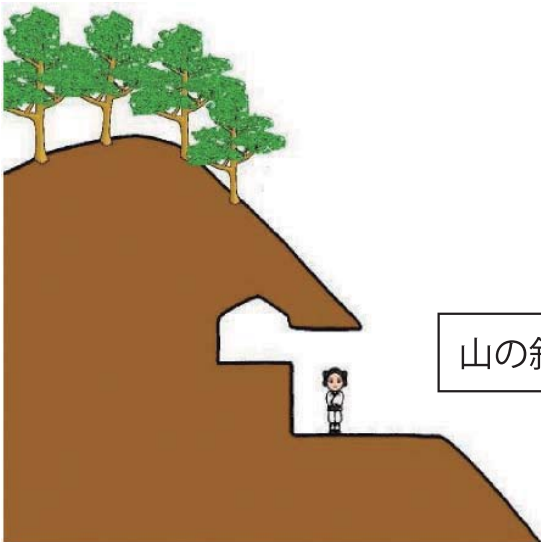
縦アーチ形

玄室模式図

【横穴墓とは】



横穴墓がつけられたのは、古墳時代の終わりごろです。九州から東北地方南部まで分布しています。

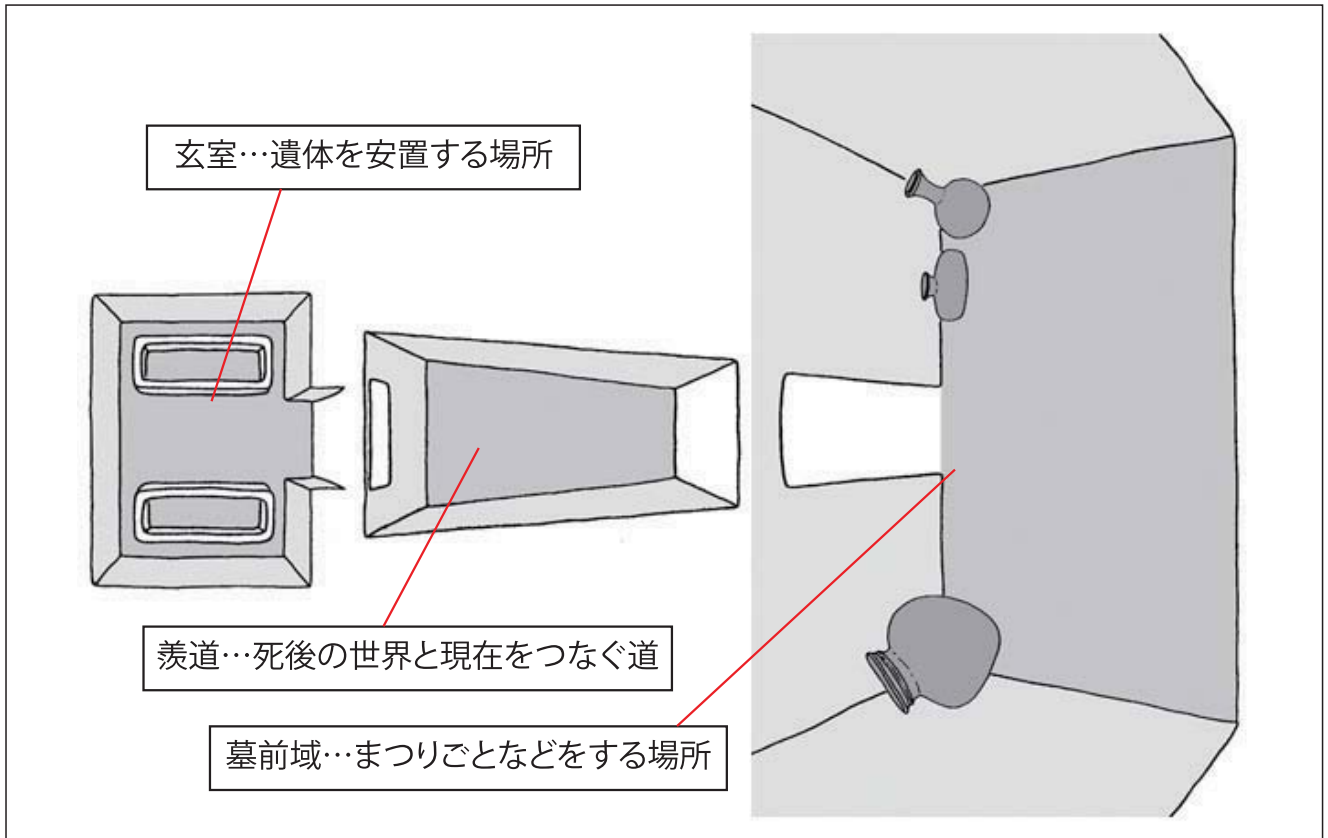


横穴墓は、丘陵地の斜面に横に穴を掘ってお墓としたことから、「よこあなぼ」と呼ばれています。

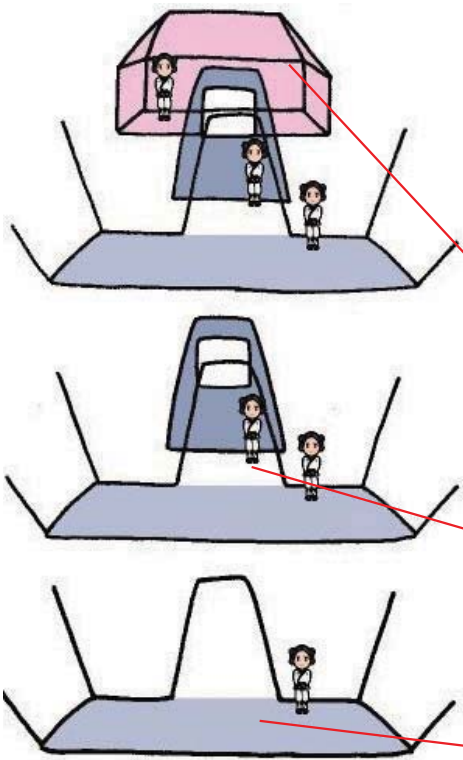
また、横穴墓は、数基がまとまって分布しており、横穴墓1基には、複数の遺体が安置されています。



横穴墓は、遺体を安置した「^{げんしつ}玄室」、「玄室」までの通路として「^{せんどう}羨道」、供養などのまつりごとをした「^{ほぜんいき}墓前域」と呼ばれる場所があります。



横穴墓模式図



とくに、長生郡内の横穴墓は、「^{こうだんしき}高壇式」と呼ばれ、玄室が一段高い位置に造られており、全国でもめずらしい特色のある横穴墓です。

玄室は一段、高い位置にある。

羨道は中間にある。

墓前域が一番、低い位置にある。

高壇式模式図

【線刻画】

線刻画とは、横穴墓の壁に尖ったもので線とがを刻きざんで絵を描いたものです。特に、13号墓

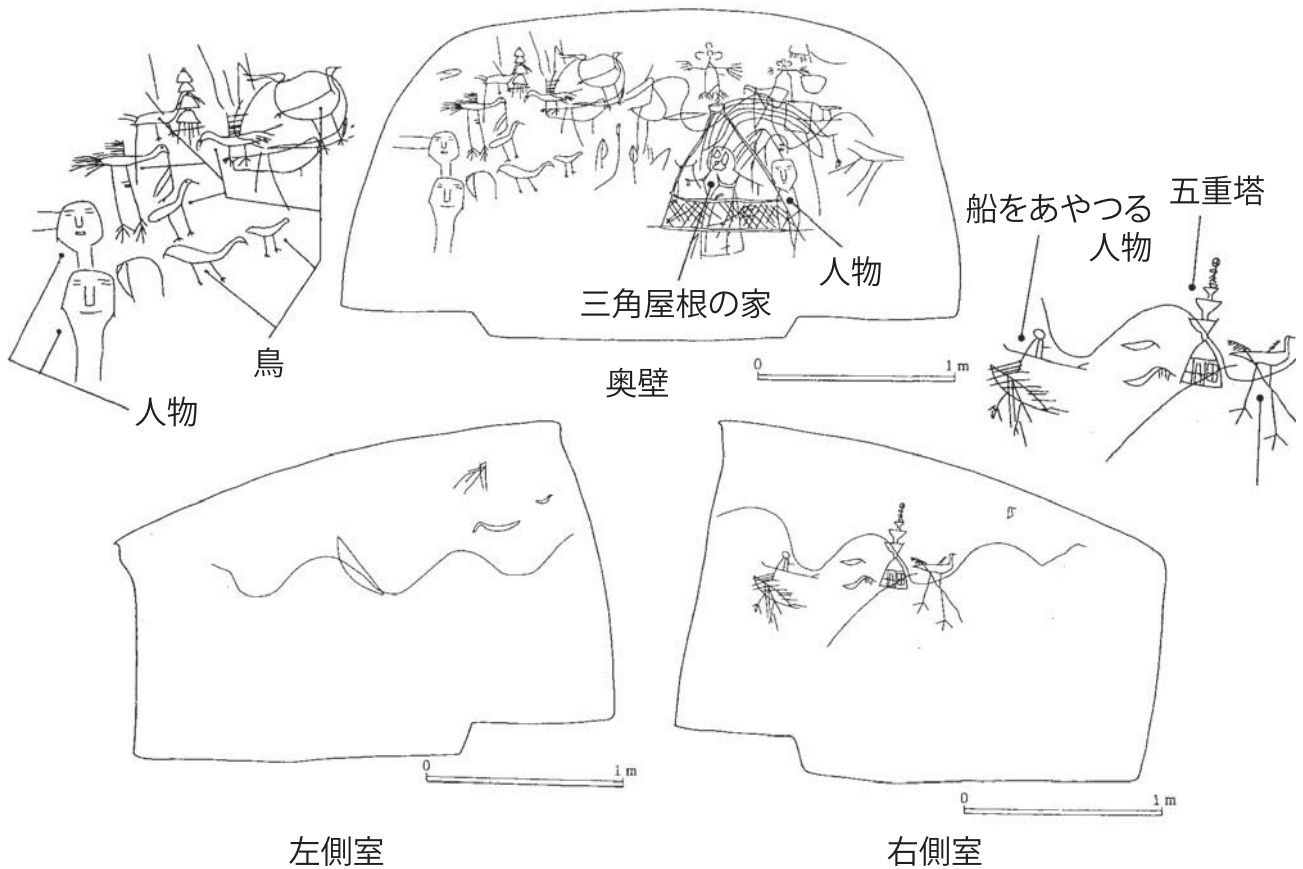


には、多くの絵が描かれており、人物・鳥・五重塔・舟に乗った人等が描かれています。

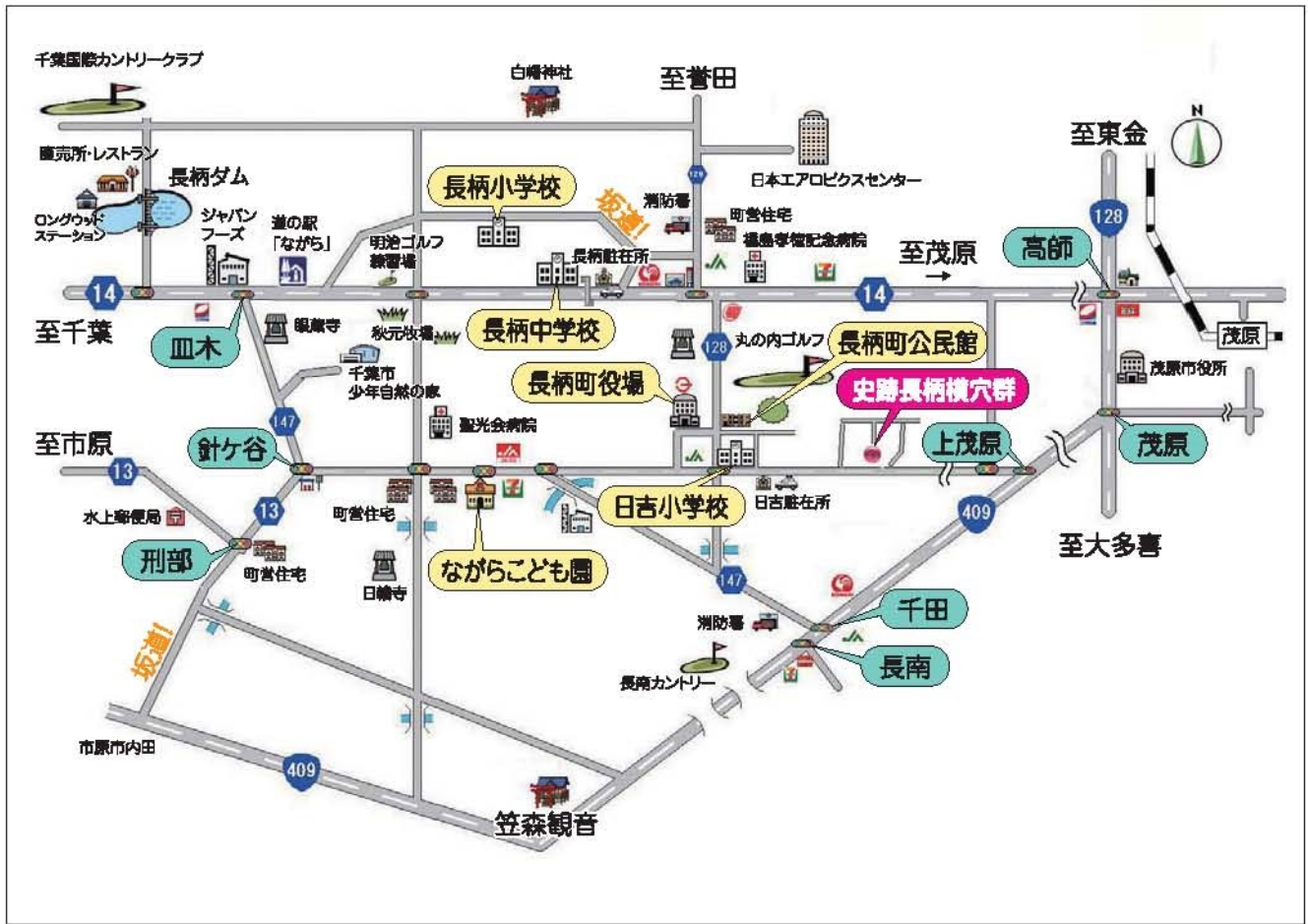
横穴墓には、なぜ、このような人物・鳥・五重塔・舟等を描いたのでしょうか。

死者のために生前せいぜんの自然や生活を描いたのか、あるいは来世の世界での安静な生活を祈ったものなののでしょうか。

皆さんは、古代の人々の祈りの心を、どのように考えますか？



第13号横穴墓玄室線刻画実測図(1/20)



★問い合わせ先 〒297-0218 千葉県長生郡長柄町桜谷690 長柄町公民館
 長柄町教育委員会教育課生涯学習班
 電話 0475-35-3242 FAX 0475-35-5095
 長柄町ホームページ <http://www.town.nagara.chiba.jp/>